骨材のアルカリシリカ反応性試験（化学法）成績報告書

識別番号 2611008
発 行 日 2026 年 11 月 11 日

宮崎県生コンクリート工業組合 坂同試験場
宮崎県宮崎市新別府町薦藁１９４８番地
TEL (0985)24-7025 FAX (0985)24-7054

090278JP

1. 顧客の名称及び住所　永順産業株式会社殿　宮崎県都城市高城町有水4491番地
2. 品名又は種類　砕石２００５
3. 試験方法　JIS A 1145:2022
4. 試料の受領日　2026 年 11 月 2 日

5. 依頼者申請事項		
試料	最大寸法	20
	岩種	砂岩
	産地	宮崎県都城市高城町有水4491番地
	採取年月日	2026 年 11 月 2 日
	採取場所	宮崎県都城市高城町有水4491番地
	採取者	田中勇
備考　立会人　：都城土木事務所　緒方誠		

6. 試験結果					
試験年月日	2026 年 11 月 2 日 ～ 2026 年 11 月 11 日				
試験実施場所	化学分析室				
No.	1	2	3	平均値	判定結果
アルカリ濃度減少量 (mmol/L)	71	75	74	73	無害
溶解シリカ量 (mmol/L)	47	46	46	46	
試験方法	8.3.3 吸光光度法による				
精度	アルカリ濃度減少量及び溶解シリカ量の3個の定量値は、いずれもその平均値との差が10%以内でなければならない、ただし、アルカリ濃度減少量及び溶解シリカ量とも、定量値が100mmol/L以下の場合には、平均値との差が10mmol/L以内であればよい。				
判定基準	骨材のアルカリシリカ反応性の判定は、測定項目における定量値の平均値を用いて行うものとし次による a) 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L以上で、アルカリの濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の範囲では、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)未満となる場合、その骨材を'無害'と判定し、溶解シリカ量(Sc)がアルカリ濃度減少量(Rc)以上となる場合、その骨材を'無害でない'と判定する b) 溶解シリカ量(Sc)が10mmol/L未満でアルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L未満の場合、その骨材を'無害'と判定する c) アルカリ濃度減少量(Rc)が700mmol/L以上の場合は判定しない				
摘要	JIS A 5005:5.6 原石の採取地が同じ場合に限り、その原石から製造される代表的な砕石の試験結果を他の砕石及び砕砂に用いることができる。				
備考					

承認署名者　試験場長：　市川治仁

a. 事前の承認なしに、この報告書のカラーコピーまたは一部分のみを複製して使用することは禁じます。
b. 本報告書の試験結果は、受領した品名又は種類についてのみ有効です。
c. 顧客の要求事項については、「5. 依頼者申請事項」の備考に記入する。

以上

立 会 証 明 書

会　社　名	永順産業　株式会社		
試料採取場所 （採取場所）	宮崎県都城市高城町有水4491番地		
採取年月日	令和8年11月2日	天　　候	曇り
試料の種類	①. コンクリート用　　20-05砕石　2袋 （アルカリシリカ反応性試験） 2. アスファルトコンクリート用 3. 路盤工用　（ア）（150kg程度） （イ） 下層用 （ウ） その他 4. 盛土用　（用途記入）		

この資料については、上記のとおり立会のうえ採取したことを証明します。

令和8年 11月 2日

立会人　　所属　　都城土木事務所

氏名　緒方 誠　緒方